

新型コロナウイルス感染症予防接種説明書

新型コロナウイルス感染症予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。

1. ワクチンの効果

新型コロナウイルスワクチンは、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究において、新型コロナウイルス感染症による入院などの重症化を予防する効果が報告されています。

2. ワクチンの副反応

- ① 新型コロナウイルスワクチンの主な副反応として、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。
- ② 頻度は不明ですが、まれに重大な副反応として、mRNAワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎、組換えタンパクワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。なお、健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済制度が設けられています。

3. 予防接種を受けることができない方

次のいずれかに該当する場合には、接種を受けることができません。

- ① 明らかな発熱がある方。(37.5℃をこえる方)
- ② 重い急性疾患にかかっている方。
- ③ 過去に新型コロナウイルスワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある方。(なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした方は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください)
- ④ その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方。

4. 予防接種を受けるに際して、医師とよく相談しなければならない方

次のいずれかに該当する場合には、健康状態や体質等を担当の医師にしっかり伝え、よく相談したうえで接種を行ってください。

- ① 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ② 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ③ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ④ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- ⑥ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある方

5. 接種後の注意

- ① 新型コロナウイルスワクチンを受けた後30分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ② 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部分をこすることはやめましょう。
- ③ 接種当日は、接種部に清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ④ 万が一、高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診療を受けてください。